

スリランカの 持続可能な都市開発について



S.S Mudalige,
財政・計画省
国家計画部門
公共事業課ディレクター
Colombo
Sri Lanka

スリランカの紹介

面積	65,610 km ²
人口	2,027万人
人口増加率	1%
人口密度	323 per sq.km
GDP (名目)	649億米ドル
1人当たりのGDP	3,139米ドル
HDI(人間開発指数)	0.691
識字率	91.9 %
安全な水の利用率	90 %
電力普及率	91%
平均寿命	74.9歳

スリランカの持続可能な都市開発の状況

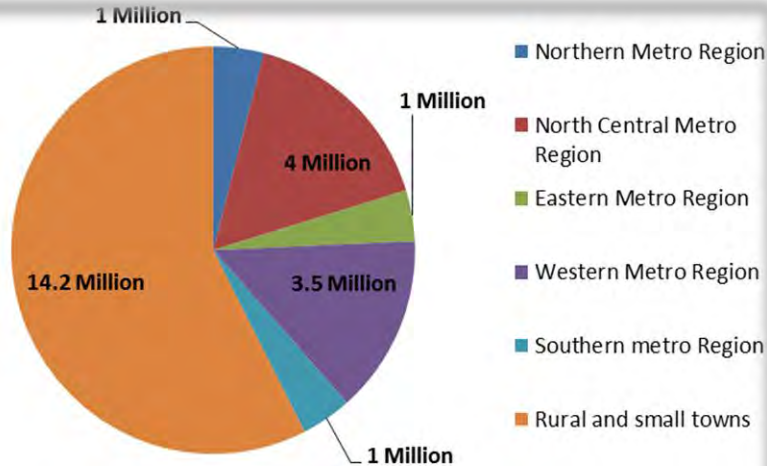
- スリランカの人口密度は世界で36位、アジアでは12位の高さである。
- 人口の約35%が都市で生活している。
- 現在の都市化率の平均上昇率は年0.3%程度だが、2030年までに3～4%まで上昇する見込みである。
- 従って、2030年までには人口の60%が都市で生活することになる。
- 急速な経済成長と、経済成長が都市にもたらす影響によって、人口密度は継続的に上昇する見込みである。
- 経済性や環境への影響を考慮し、5つの地域が主要大都市圏として考慮されている。
- 各地域はそれぞれ特有の社会経済的、地理的な特性がある。
- 将来的な人口は周辺から大都市圏に移っていくものと考えられる。

都市開発の課題

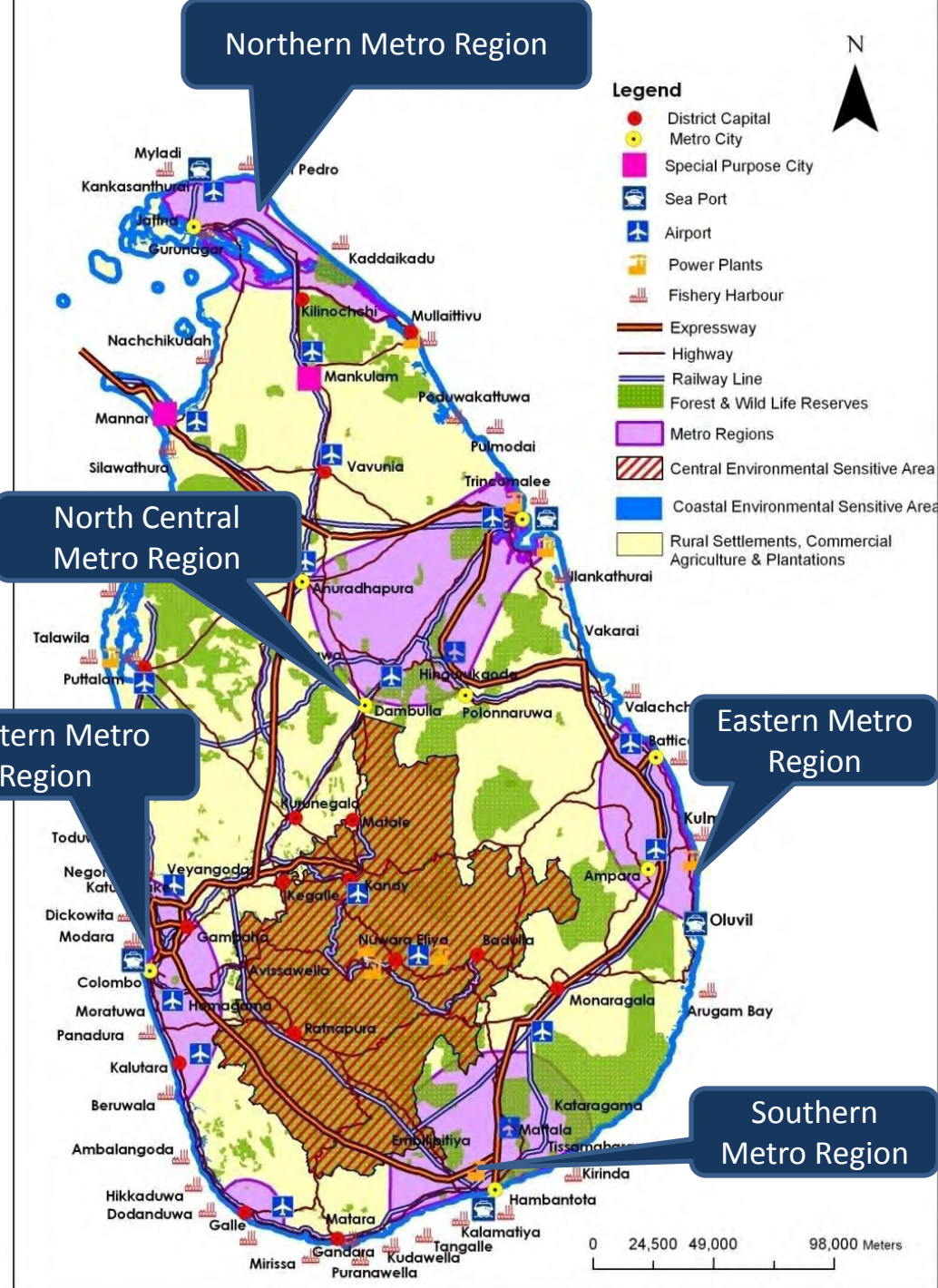
- 混沌として進む都市化
- スラム地域
- 周囲の環境や景観を考慮しない建設
- 高い人口密度
- 排水が不十分なことによって起きる頻繁な洪水



2030年のスリランカ



“コロンボ市および他の主要都市は、南アジアにおける商業の中核となり、中所得国の環境に優しい近代都市と同等レベルに改善される。” - (マヒンダ・チンタナ(大統領のビジョン) 2010, p. 19)



都市再生・再開発計画



首都コロンボ都市部の 開発計画

- ・ 洪水緩和
- ・ 景観美化



コロンボの沿岸部

- ・ 観光
- ・ 雇用
- ・ 商業と金融部門
- ・ 高級住宅

ハンバントータ 成長センター

- ・ 空港
- ・ 港湾
- ・ 石油精製所
- ・ 工業団地
- ・ 発電所、展示会場



その他の問題

- サービスが不十分な集落の移転
- 不動産開発のための用地買収
(高級ホテル、住宅街、オフィス街、ショッピングモールなど)
- 小規模な街の開発

環境に配慮した開発

- 太陽光発電を利用した街灯
- (エネルギー効率の高い)グリーン建築
- 緑地や自転車専用道
- 廃棄物管理
- 都市緑化





コロンボ 緑の成長事業

Green Growth Program

目的: コロンボを炭素排出量が少ないグリーン都市にする

資金提供者: 世界銀行

構成要素:

- 世界的な都市指標プログラム
- 温室効果ガス指標
- 迅速な評価の枠組み
- 都市単位の脆弱性評価
- 都市単位の気候変動に対する行動計画

関連部門: 上下水道、エネルギー、廃棄物、交通、都市緑化

実施期間: 10～15年

技術支援が必要な領域

**炭素排出を減らし、グリーン都市を
推進するような新しい技術や取組み**

- 都市緑化(都市の森林)の確立
- 効率的な太陽光発電街路灯システム
- 自然採光の技術
- 節電技術
- 廃棄物管理

ご静聴ありがとうございました。